

# 濱口竜介『他なる映画と』刊行記念

映画監督・濱口竜介の映画論を集成した

著書『他なる映画と』（全7冊、インスクリプト）の刊行にちなみ、同書で論及された3本の作品を上映する。そこに映るのは、踊る身体、漁を営む身体、そして、演技する身体と演出する身体だ。カメラがとらえる「からだ」たちの相互作用のただなかで、映画が立ち上がる。

その現場に目をこらし耳を澄ます「からだ」のための、「動きの勉強会」3氏（本書あとがき参照）による、エクササイズ！

上映＋トーク

2024年  
7月25日(木) 18～21時 (17時30分開場)  
アテネ・フランセ文化センター (御茶ノ水)

事前ネット購入制

【上映】

KAZUO OHNO | 監督：ダニエル・シュミット、1995年、15分、35mm

海とお月さまたち | 監督：土本典昭、1980年、50分、16mm

ジャン・ルノワールの演技指導 | 監督：ジゼル・ブロンベルジェ、1968年、22分、デジタル

【トーク】

濱口竜介 | 映画監督 + 砂連尾理 | ダンサー・振付家 + 平倉圭 | 芸術学

# 他なる映画のからだたち

カメラと録音機の持つ「記録」の力に拮抗するようお願いながら、「注意力」を張り詰めさせて見聞きをすること。

『他なる映画と』と名付けられた本書が読者に誘いかける映画との関係はこれに尽きる。

そして、この視聴の態度を養うための最良の環境が映画館であることもまた言うまでもない。最も願望していることは

読者が、本書で取り上げた映画を映画館で見たいという強烈な欲望を抱くことだ。——『他なる映画と1』まえがきより

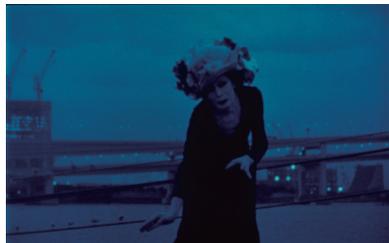
主催 ..... éditions azert

共催 ..... アテネ・フランセ文化センター

協力 ..... ユーロスペース | シグロ | シネ・アソシエ | 紀伊國屋書店 | アンスティチュ・フランセ | インスクリプト

ATHÉNÉE FRANÇAIS  
CULTURAL CENTER  
アテネ・フランセ文化センター

18時~:『KAZUO OHNO』『海とお月さまたち』+トーク 20時(予定)~:『ジャン・ルノワールの演技指導』+トーク  
二部構成、途中休憩あり。



### KAZUO OHNO

1995年 | 日本・フランス | 15分 | カラー | 35mm  
監督:ダニエル・シュミット | 撮影:レナート・ベルタ | 出演:大野一雄、大野チエ  
舞踏家・大野一雄とスイスの映画作家ダニエル・シュミット、奇跡のコラボレーション。宵闇迫る晴海埠頭に大野が舞い、ベルタの流麗なカメラが追う。シュミット作品『書かれた顔』と同じ映像も使われているが、別様の編集がなされている。自宅で踊る大野、それを見遣る妻の姿も垣間みられる。

★『他なる映画と1』90頁~



### 海とお月さまたち

1985年 | 日本 | 50分 | カラー | 16mm  
監督:土本典昭 | 撮影:瀬川順一 | 音楽:松村禎三  
世界映画史に冠たる「水俣」シリーズの土本典昭が手がけた児童向け記録映画。描かれるのは不知火海の生態系と漁業の営み。子供らを前に疑似餌を拵え、海へ繰り出しては「銚突き漁」で鯛を仕留め、釣果を捌いていく漁師たちの、手際の一つ一つを活写した本作に、「水俣病」の語は登場しない。

★『他なる映画と2』87頁~



### ジャン・ルノワールの演技指導

1968年 | フランス | 22分 | カラー | デジタル | 日本語字幕付き  
監督:ジゼル・ブロンベルジュ | 撮影:エドモン・リシャール | 出演:ジゼル・ブロンベルジュ、ジャン・ルノワール  
原題:La Direction d'acteur par Jean Renoir  
ルノワールの盟友プロデューサーたるピエール・ブロンベルジュの妻・ジゼルを相手にルノワールが演出・稽古する。感情を込めずにセリフを発声する「イタリア式本読み」と呼ばれるリハーサル手法の、貴重な記録映像。作中でジゼルが演じるのは、ルーマー・ゴッデン(『河』原作者)の小説の一場面。

★『他なる映画と1』191頁~

濱口竜介 (はまぐち・りゅうすけ).....映画監督。1978年生。最新作『悪は存在しない』(2023)が全国公開中。  
砂連尾理 (じゃれお・おさむ).....ダンサー・振付家。1965年生。濱口竜介監督『不気味なものの肌に触れる』(2013)への振付・出演も。  
平倉圭 (ひらくら・けい).....芸術学。1977年生。著書『ゴダールの方法』(インスクリプト、2010年)、『私たちは思考する』(東京大学出版会、2019年)。

『他なる映画と』における中心的なピックは、被写体という「からだ」をどう見るか、聞くかということだ。この点において、共に勉強会をしていた砂連尾理さんと平倉圭さんの指摘から受け取ったものの大きさは計り知れない。類まれなる分析能力で、認識から逃げ去るような映画の「細部」「構造」「リズム」を発見し続けるお二人との「勉強会」をここに公開。楽しみだー! ——濱口竜介

### 濱口竜介『他なる映画と』(全2冊)

映画というのはどこか、徹頭徹尾私にとって「他・なるもの」であるようだ——  
世界が注目する映画監督・濱口竜介による映画論を、2冊に集成。  
インスクリプトより 2024年7月初旬発売 定価:各2500円+税



料金・チケット  
事前ネット購入制  
一般2000円 | 学生1700円 | アテネ・フランセ文化センター会員1600円  
7月7日(日)午前10時より、以下のPeatix(ピーティックス)にて販売。

<https://tanaru0725.peatix.com/> .....



160席(自由席)。定員になり次第、申込みは終了します。  
ご購入にあたってはPeatixへの登録が必要です。

17時30分より、整理番号順にご入場いただけます。チケットに添えられた「#」付きの数字が整理番号です。受付にて、Peatixのチケット画面(QRコード)をご提示ください。

会場  
アテネ・フランセ文化センター  
東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ4階 | JR・地下鉄 御茶ノ水・水道橋駅より 徒歩7分  
TEL.03-3291-4339 (13:00-20:00) <http://www.athenee.net/culturalcenter/> [infor@athenee.net](mailto:infor@athenee.net)

